

## 2003年第51週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾病集計表
- 疾病別グラフ(五類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)  
    — 感染性胃腸炎 —
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 保健所別定点当たり累計表

## 感染症豆知識

- SARSとインフルエンザ

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



### (全数情報)

- ・細菌性赤痢が3件報告された。ソネ菌1件、フレキシネル菌1件、ディセンテリー菌1件で推定感染地はそれぞれタイ、パキスタン、ガーナである。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が2件報告された。血清型はO157が2件(VT1 & VT2産生株)である。
- ・A型肝炎が1件報告された。推定感染地は国内で、生カキからの感染が疑われた。
- ・マラリアが2件報告された。どちらも三日熱マラリアで、推定感染地はブラジル、パプアニューギニアである。
- ・アメーバ赤痢が5件報告された。推定感染地はタイ2件、国内3件で、推定感染経路は飲食等による経口感染2件、不明3件である。
- ・急性脳炎が1件報告された。推定感染地は国内で、感染経路は不明である。2歳女児で先行する風邪様症状の後、けいれん重積と意識レベルの低下を認めた。
- ・HIV感染症が9件報告された。無症候性キャリア7件、AIDS1件、その他1件で、推定感染経路は異性間性的接触3件、同性間性的接触6件である。
- ・梅毒が1件報告された。早期顕症梅毒 期で推定感染地は国内、推定感染経路は同性間性的接触である。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

### (定点情報)

- ・インフルエンザが増加してきた。感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症が急増している。水痘、伝染性紅斑、突発性発疹、流行性角結膜炎の報告も多い。

### (病原体情報)

- ・インフルエンザ1名の咽頭拭い液からA香港型のインフルエンザウイルス遺伝子が検出された。
- ・ヘルパンギ - ナ疑い1名の咽頭拭い液からアデノウイルス、エンテロウイルス、ヒトヘルペスウイルス6型の3つのウイルスの遺伝子が検出された
- ・川崎病、不明発疹・不明熱、不明熱、インフルエンザ疑い各1名の咽頭拭い液とけいれん1名の鼻汁からアデノウイルス遺伝子が検出された。
- ・発疹1名の咽頭拭い液からエンテロウイルスの遺伝子が検出された。
- ・突発性発疹1名の咽頭拭い液からヒトヘルペスウイルス6型の遺伝子が検出された。
- ・水痘疑い1名の咽頭拭い液から水痘帯状疱疹ウイルスの遺伝子が検出された。
- ・急性胃腸炎2名の便からノロウイルスの遺伝子が検出された。
- ・流行性角結膜炎1名の咽頭拭い液からアデノウイルス3型、下痢1名の便からアデノウイルス3型、乳児下痢症1名の便からポリオウイルス1型及び2型がそれぞれ分離され、乳児下痢症患者

の便からはノロウイルスの遺伝子も検出された。

- ・ウイルス性胃腸炎集団発生は20事例の患者検体93件からG型のノロウイルスが検出された。
- ・菌株で搬入されたMRSA1株のコアグラ-ゼ型は型であった。
- ・菌株で搬入された溶血性レンサ球菌2株のT型は3型、28型各1件であった。
- ・保健所などから搬入された血清237件中3件から梅毒特異抗体が検出された。
- ・保健所などから搬入された血清192件中38件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・保健所などから搬入された頸管拭い液等30件中1件から淋菌遺伝子が検出された。
- ・定点から搬入された頸管拭い液7件中1件からヒトパピロ-マウイルス遺伝子が検出された。
- ・多摩地区の定点から搬入された感染性胃腸炎の便3件のうち1件からノロウイルス遺伝子が、他の1件から病原大腸菌O128が検出された。

## 調査票通信 定点医療機関からのコメントを掲載

### 新宿区

- ・感染性胃腸炎が急激に増加。特に胃腸症状(嘔吐、心窩部痛)つよし。

### 大田区

- ・結膜炎を伴わない咽頭炎のみのアデノウイルス感染症、4例。
- ・インフルエンザはB型、1件。

### 世田谷

- ・11歳男子、インフルエンザ迅速テスト(A)。
- ・A型インフルエンザ3例。

### 台東

- ・4歳男児、インフルエンザA+
- ・15~19歳男1件、インフルエンザA型

### 中野

- ・インフルエンザ、15歳男性。ラピッドビューにて陽性(症状からはA型と思われる)。

### 練馬区

- ・インフルエンザで今年初めてのA型が出ました。

### 町田

- ・インフルエンザ18歳男、キャピリア、テスト陽性。

## 全数届出患者数一覧表 2003年51週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		48週	49週	50週	51週	年累計	51週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ		1			5	1	24
	細菌性赤痢		3		3	102	3	448
	ジフテリア							
	腸チフス	1		1		21		60
パラチフス			1		7		38	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	2		2	179	73	2606
四類	E型肝炎							(1)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1			1	3	(2)	(9)
	エキノコックス症							17
	黄熱							
	オウム病					2		42
	回帰熱							
	Q熱					1		9
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病	1	1			3	25	333
	デング熱					15		31
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	51
	日本脳炎							1
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ボツリヌス症								
マラリア	1		1	2	33	4	77	
野兔症								
ライム病							5	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症					16		140	
レプトスピラ症								

カッコ内の数値は前週分である(2003/12/24集計)。

## 全数届出患者数一覧表 2003年51週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		48週	49週	50週	51週	年累計	51週	年累計
五 類 (全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	3	1	1	5	118	7	494
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		1			67	2	629
	急性脳炎				1	1	(1)	(6)
	クリプトスポリジウム症					6		8
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1			13	1	109
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				6		51
	後天性免疫不全症候群	2	7	5	9	350	15	918
	ジアルジア症		1			29		99
	髄膜炎菌性髄膜炎					4		17
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	2	1	1	1	64	9	480
	破傷風					3		68
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			4		59

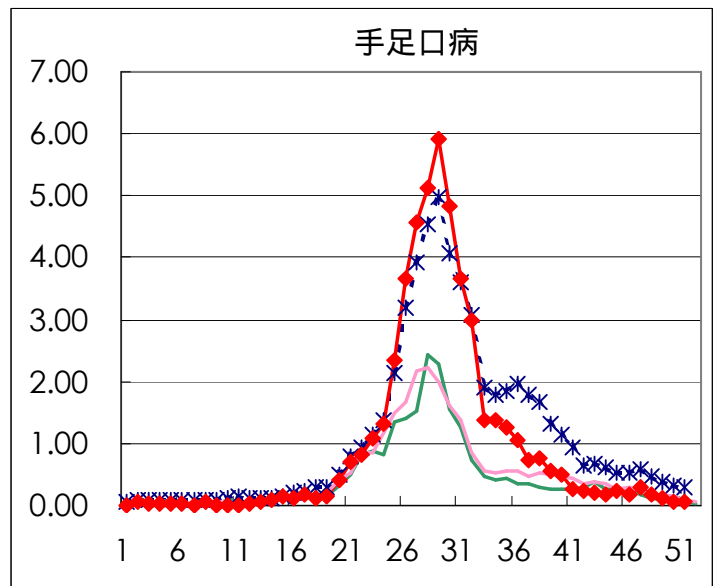
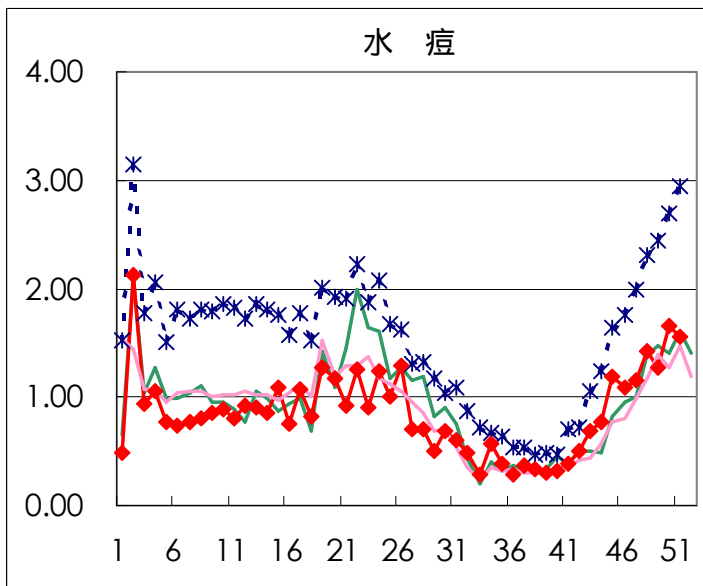
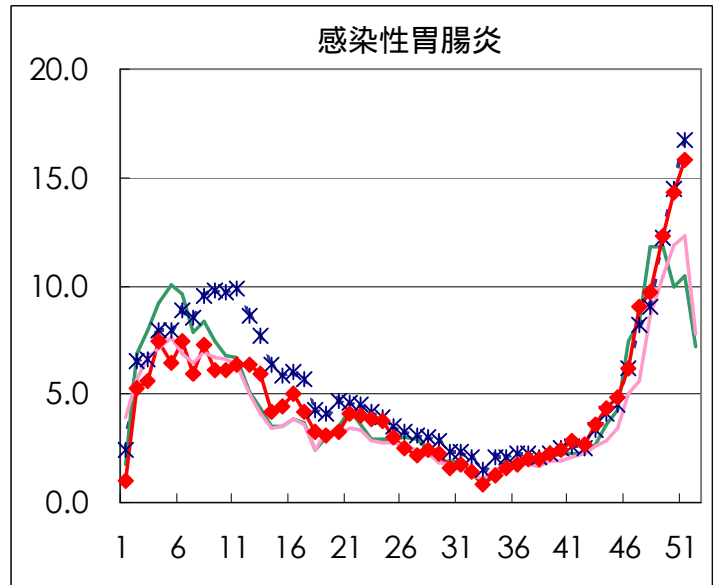
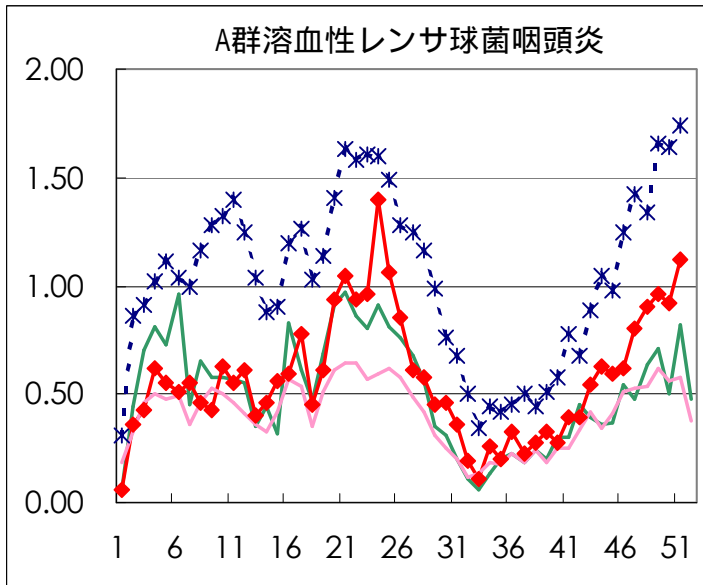
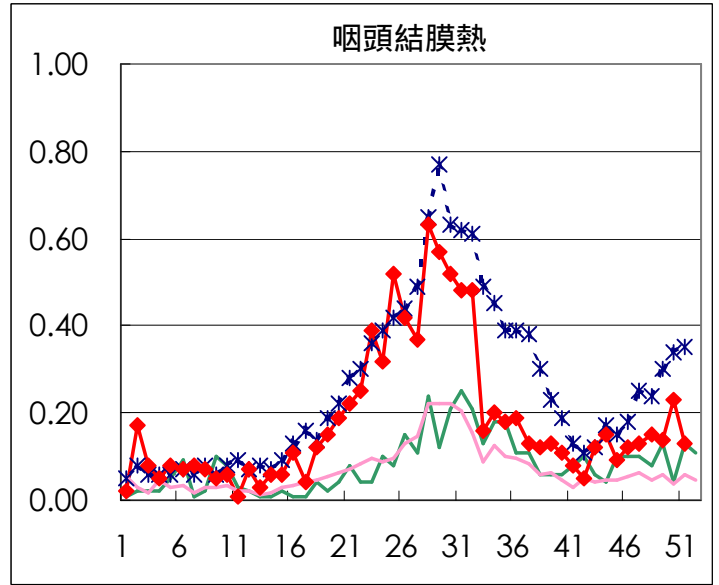
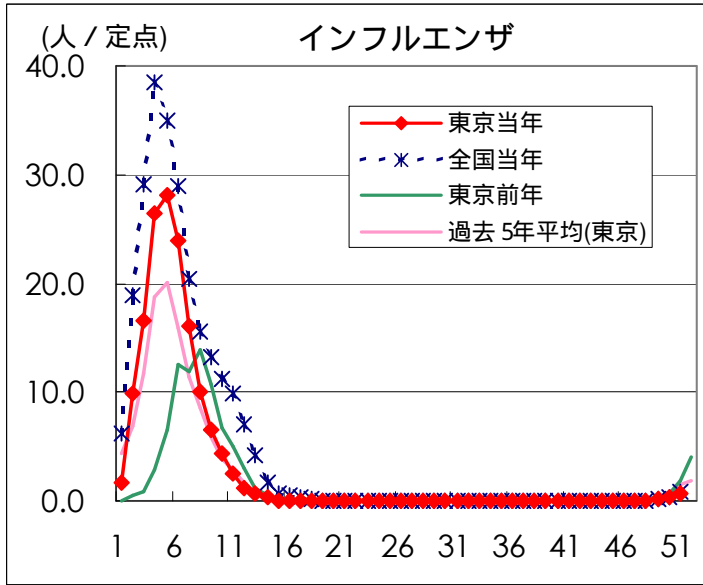
カッコ内の数値は前週分である(2003/12/24集計)。

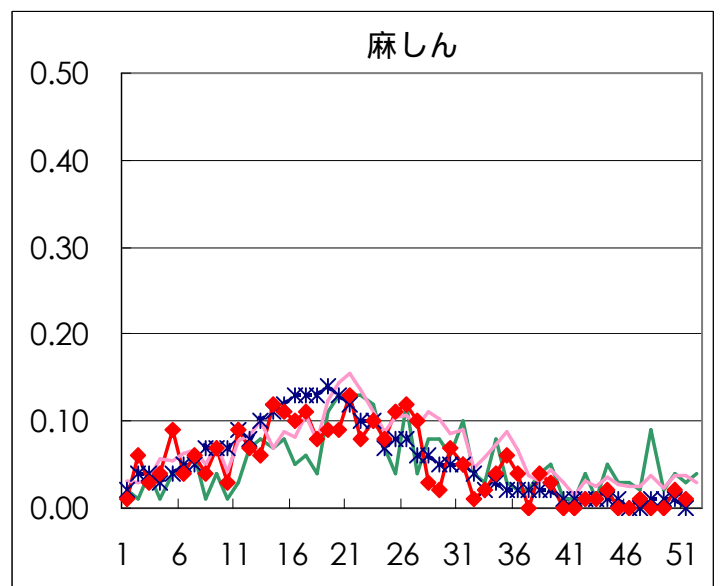
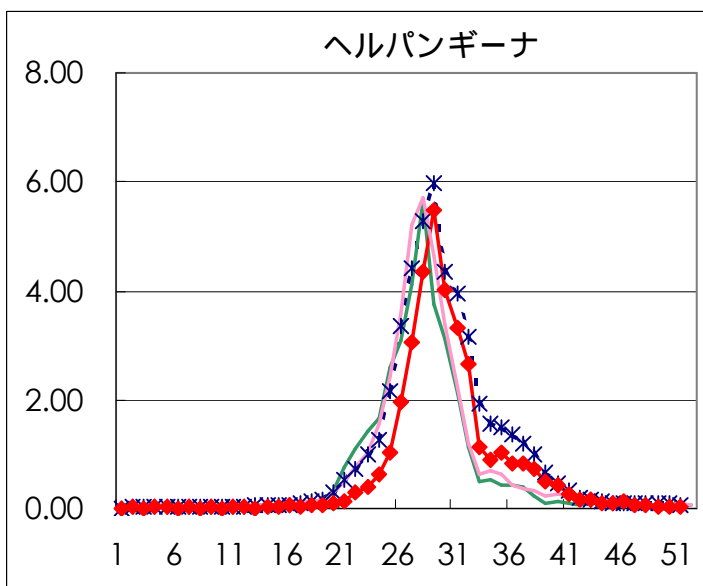
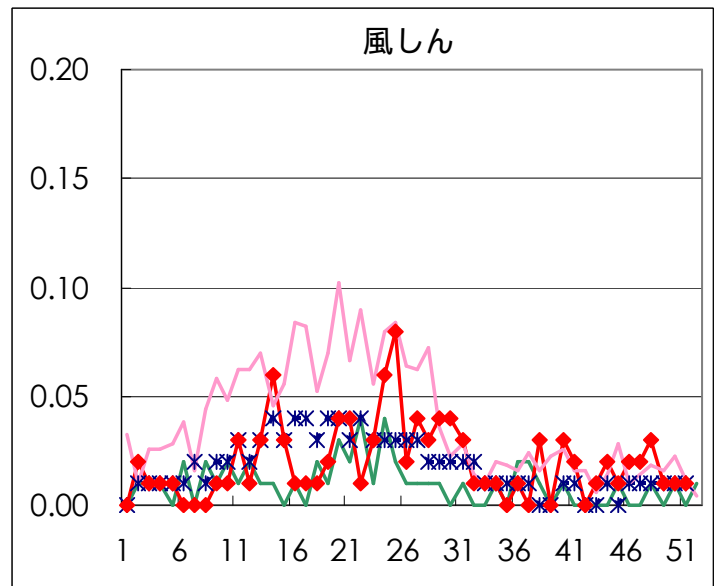
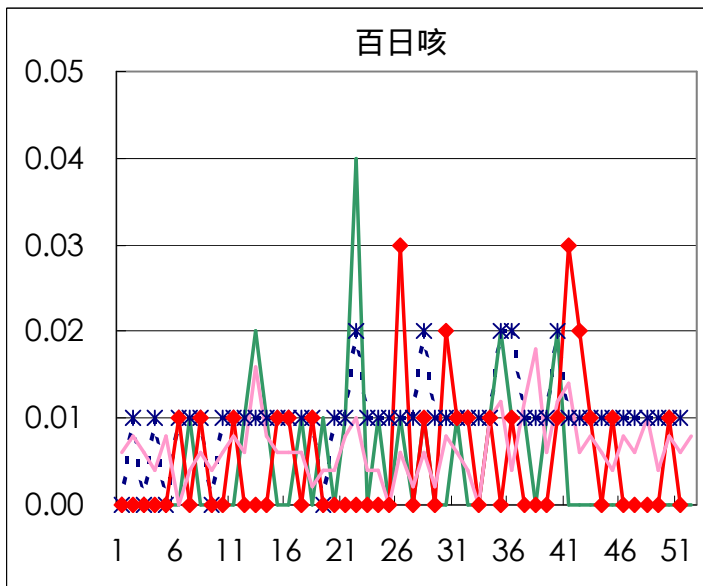
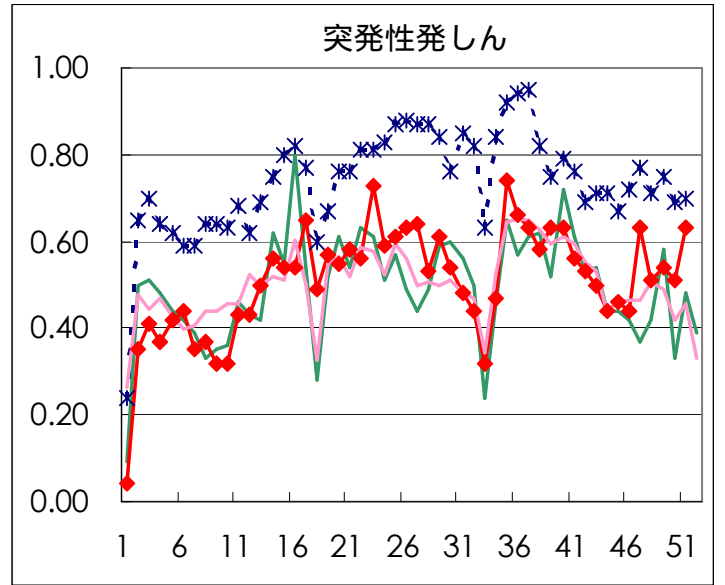
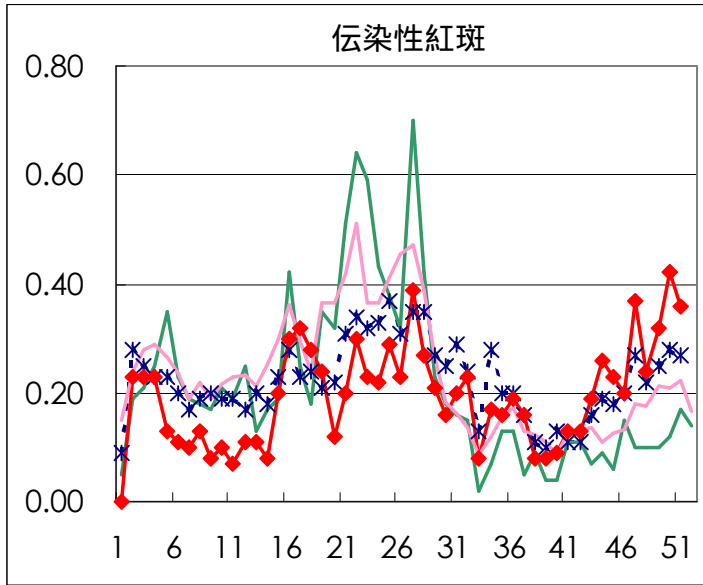
## 定点報告疾病集計表（男女別）

疾病名	性	2003年 週				4週合計	年累計
		48	49	50	51		
R S ウイルス感染症	男	2	7	4	10	23	24
	女	2	3	10	8	23	24
インフルエンザ	男	5	13	28	57	103	13,510
	女	2	11	28	70	111	13,198
咽頭結膜熱	男	11	14	20	12	57	745
	女	11	6	12	6	35	585
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	76	77	68	70	291	2,186
	女	52	60	63	89	264	1,941
感染性胃腸炎	男	734	864	1023	1154	3,775	17,423
	女	646	881	1012	1090	3,629	16,315
水痘	男	109	95	105	117	426	3,348
	女	94	87	130	105	416	2,885
手足口病	男	15	13	7	5	40	3,755
	女	9	5	3	4	21	3,107
伝染性紅斑	男	23	30	27	26	106	724
	女	11	16	32	25	84	692
突発性発しん	男	37	37	35	44	153	1,850
	女	36	40	38	45	159	1,850
百日咳	男			1		1	21
	女						13
風しん	男	4				4	71
	女		1	1	1	3	67
ヘルパンギーナ	男	4	2	3	3	12	2,651
	女	6	2	2	2	12	2,406
麻しん(成人以外)	男				2	2	187
	女			3		3	181
流行性耳下腺炎	男	12	17	15	16	60	732
	女	5	14	12	7	38	526
不明発疹症	男	4	6	2	5	17	291
	女	5	2	3	2	12	278
M C L S	男	2	1		1	4	34
	女	1			1	2	32
急性出血性結膜炎	男	1				1	9
	女						9
流行性角結膜炎	男	5	6	6	14	31	511
	女	6	5	6	13	30	354
細菌性髄膜炎	男			1	1	2	10
	女		1			1	8
無菌性髄膜炎	男	1	1			2	36
	女				1	1	28
マイコプラズマ肺炎	男	1	1	1	3	6	82
	女	1			1	2	87
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男						3
	女						
成人麻しん	男		1			1	82
	女						62

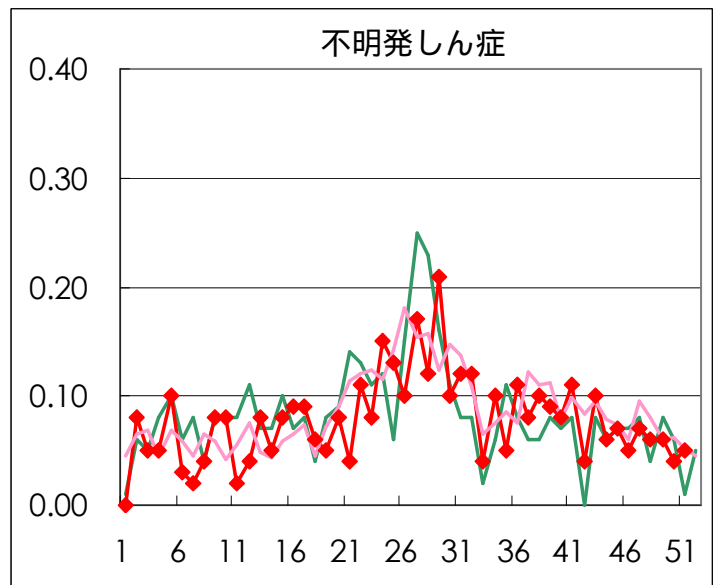
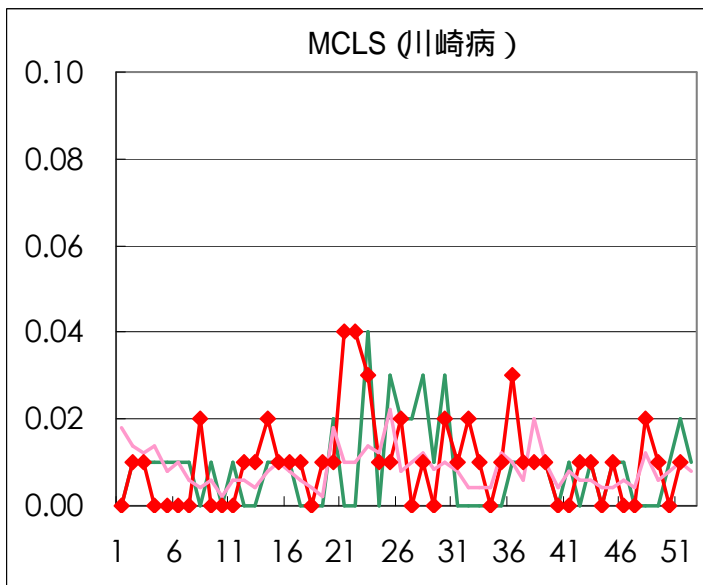
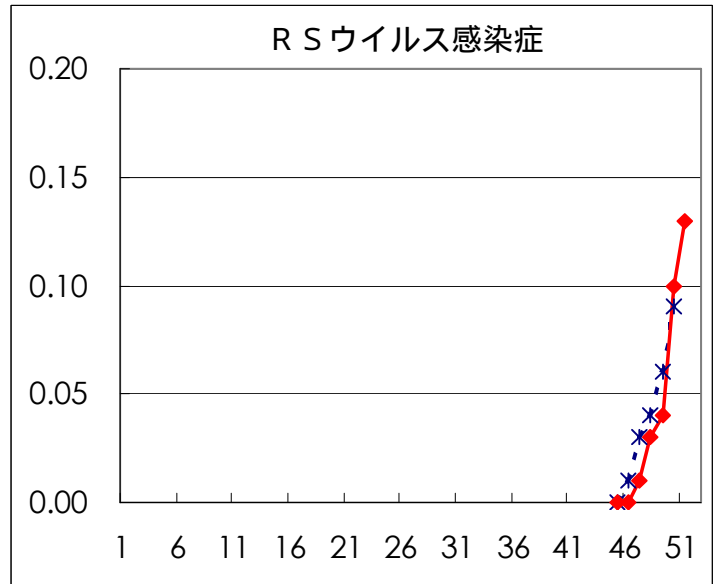
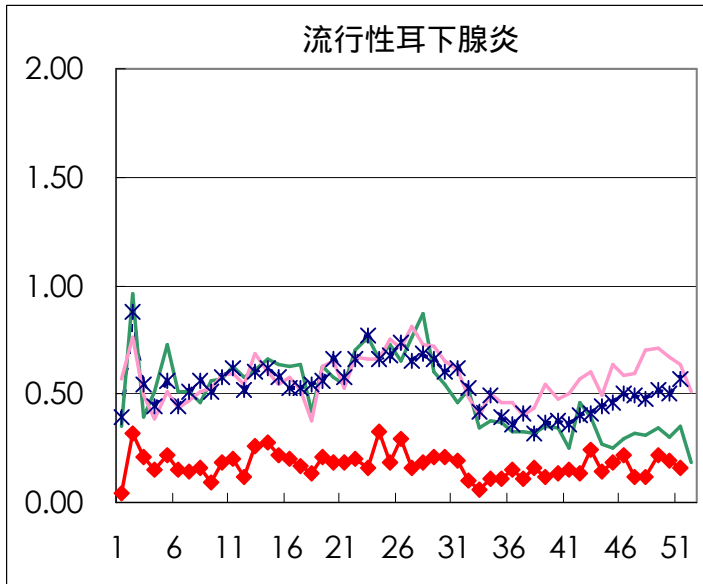
# 疾病別グラフ (五類定点週報告分)

## 小児科・インフルエンザ定点

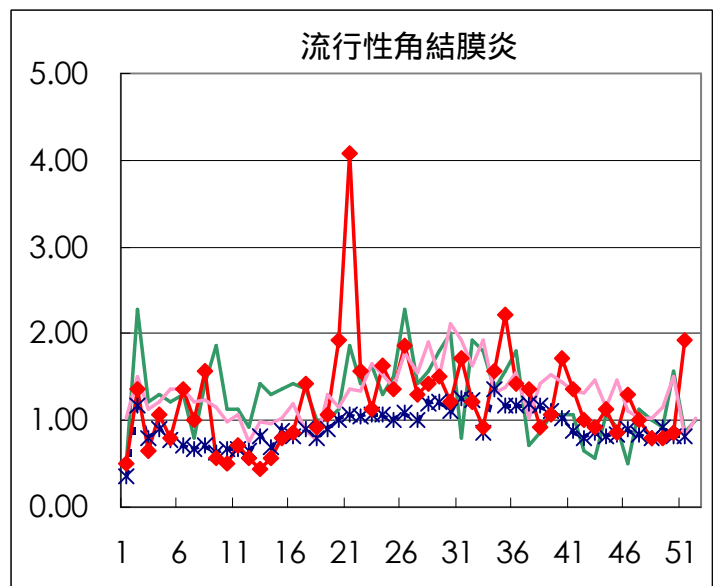
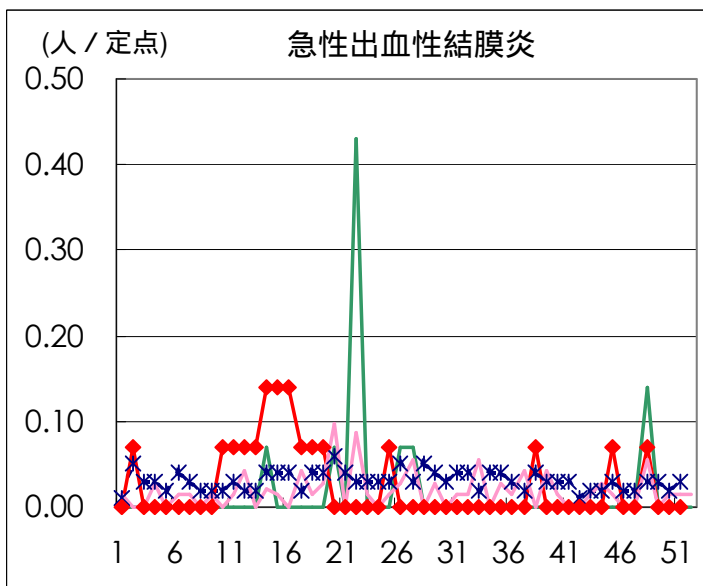




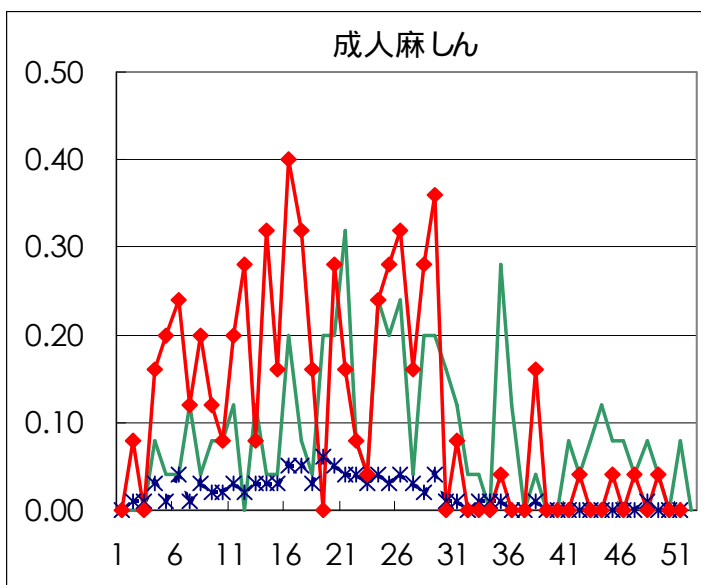
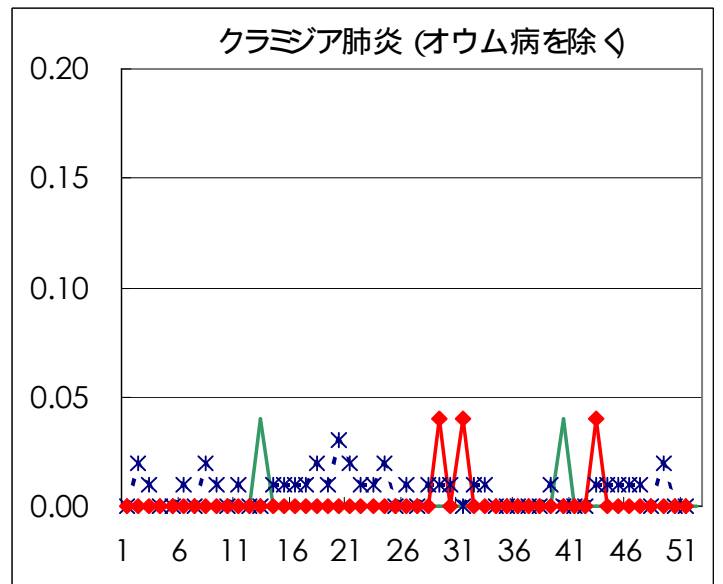
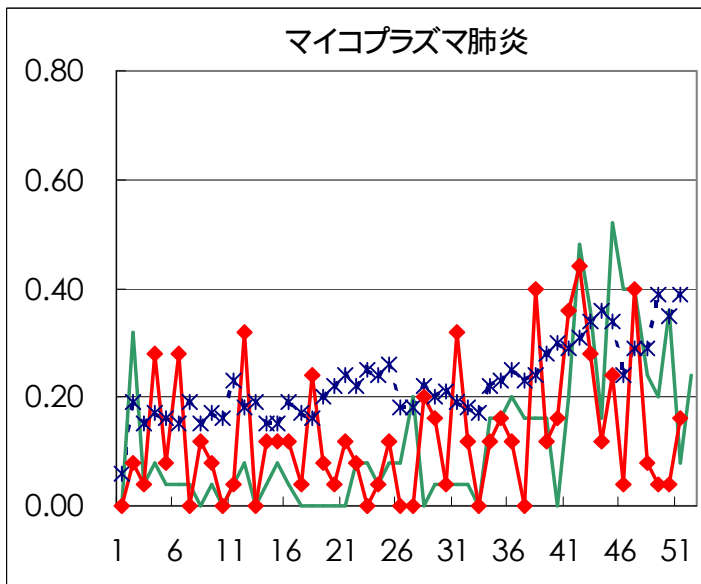
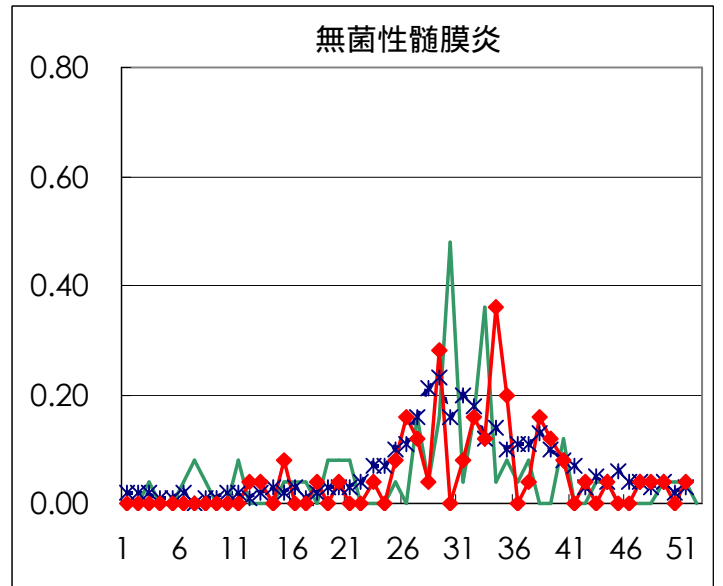
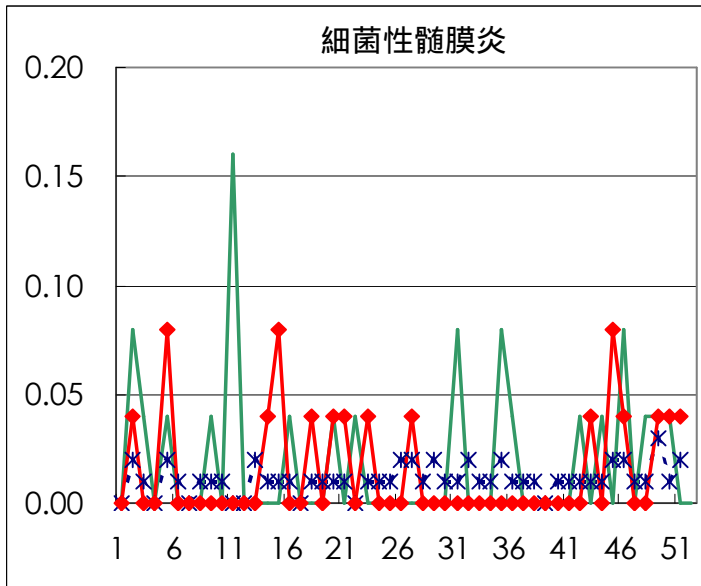




## 眼科定点



基幹定点



疾病別の定点医療機関数 (週報告分)		
定点種別	疾病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

# 病原体検出情報

週別病原体・抗体検出結果(2003年44~51週)

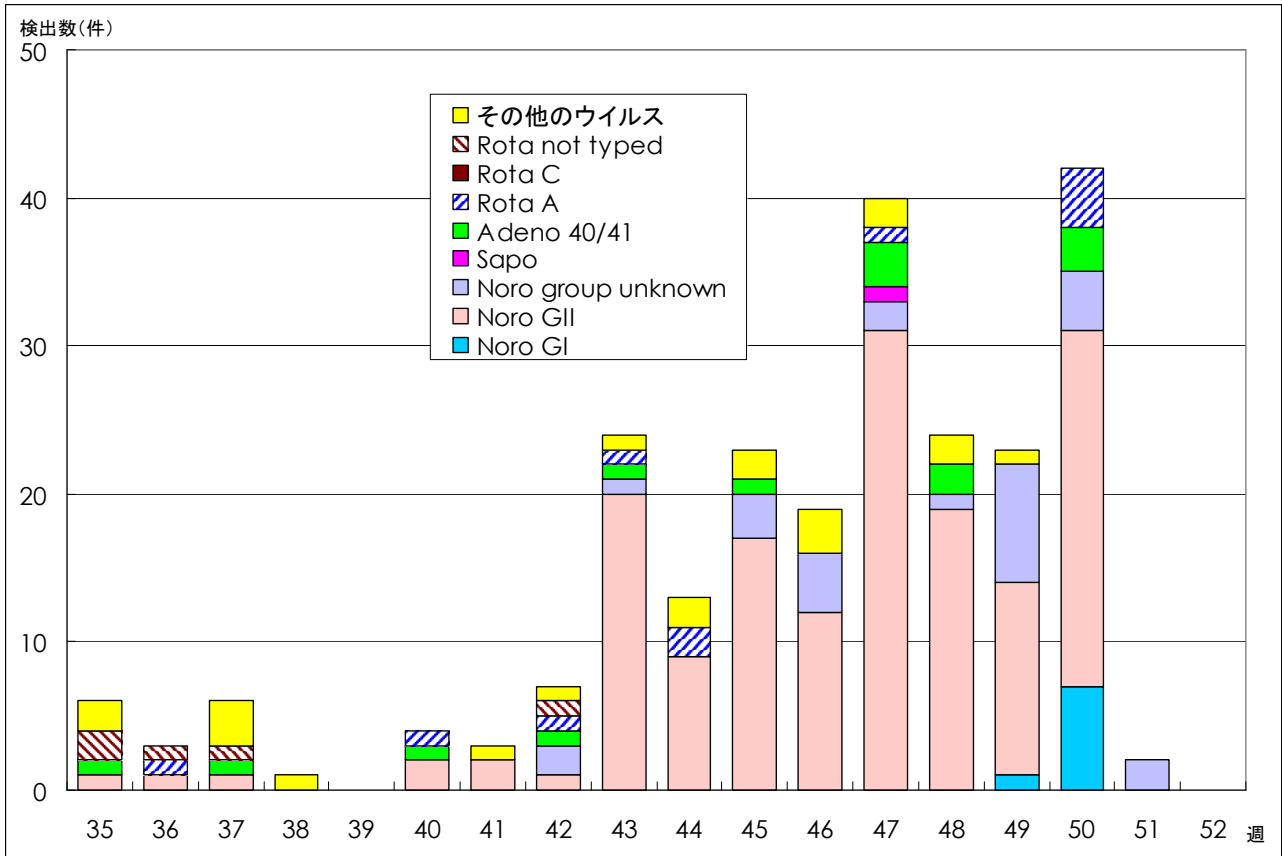
検出病原体・抗体		検体採取週								合計	
		2003年									
		44	45	46	47	48	49	50	51		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型			3			5	1	19	28	
	インフルエンザB型										
	RSV			2	1					3	
	アデノ	2	1	4	4	1	3	2	6	23	
	エンテロ	1	2		1	1			2	7	
	ノロ (SRSV)		30	25	11	35	56	59	96	312	
	ロタ				1					1	
	単純ヘルペス				2					2	
	水痘・帯状疱疹						1		1	2	
	EBV	1				1				2	
	CMV					2		1		3	
	HHV6/7	1	2		2		1	2	2	10	
	ムンプス										
	麻疹					1				1	
	パルボB19		1							1	
	分離型別	ポリオ1							1		1
		ポリオ2							1		1
		アデノ1			1						1
		アデノ2			1	1					2
		アデノ3				3					3
		エコー13									
		エコー71									
コクサッキーA6											
抗体	デング										
	ツツガムシ										
細菌	カンピロバクター		1							1	
	サルモネラ				1		1			2	
	下痢原性大腸菌			1			2		1	4	
	エロモナス										
	O157										
	MRSAコアグラウゼ 型			2			2			4	
	MRSAコアグラウゼ 型	2	4	6	2	2	2		1	19	
	MRSAコアグラウゼ 型				1					1	
	MSSAコアグラウゼ 型										
	溶連菌T-1型			1						1	
	溶連菌T-3型								1	1	
	溶連菌T-4型		1			1	2			4	
	溶連菌T-6型										
	溶連菌T-12型		1	2		2	3	1		9	
	溶連菌T-22型										
	溶連菌T-25型										
溶連菌T-28型	1	1		1				1	4		
溶連菌UT				1					1		
性感染症	梅毒				5	4	6	12	3	30	
	クラミジア抗体	1	17	21	43	76	83	141	54	436	
	クラミジア遺伝子				2			1		3	
	淋菌遺伝子		1	1			2		1	5	
	パピローマ	1		4	1	2		2	1	11	

臨床診断名別病原体検出結果 (2003年44~51週)

臨床診断名 検出病原体	イン フル エン ザ A 群 溶 血 性 レ ン サ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	咽 頭 結 膜 熱	球 菌 咽 頭 炎	A 群 溶 血 性 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	脳 炎	ヘ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	発 疹 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	口 内 炎	水 痘	そ の 他	合 計
インフルエンザAソ連型																		
インフルエンザA香港型	7	20											1					28
インフルエンザB型																		
RSV		1	2															3
アデノ		3	1				4			1			4				10	23
アデノ1							1											1
アデノ2													1					2
アデノ3							1										2	3
エンテロ							1	1		2	1		1				1	7
エコー13																		
コクサッキーA6																		
ポリオ1							1											1
ポリオ2							1											1
ムンプス																		
ノロ (SRSV)							312											312
ロタ							1											1
単純ヘルペス																	2	2
水痘・带状疱疹													1				1	2
パルボB19												1						1
カンピロバクター																	1	1
サルモネラ							1										1	2
下痢原性大腸菌							4											4

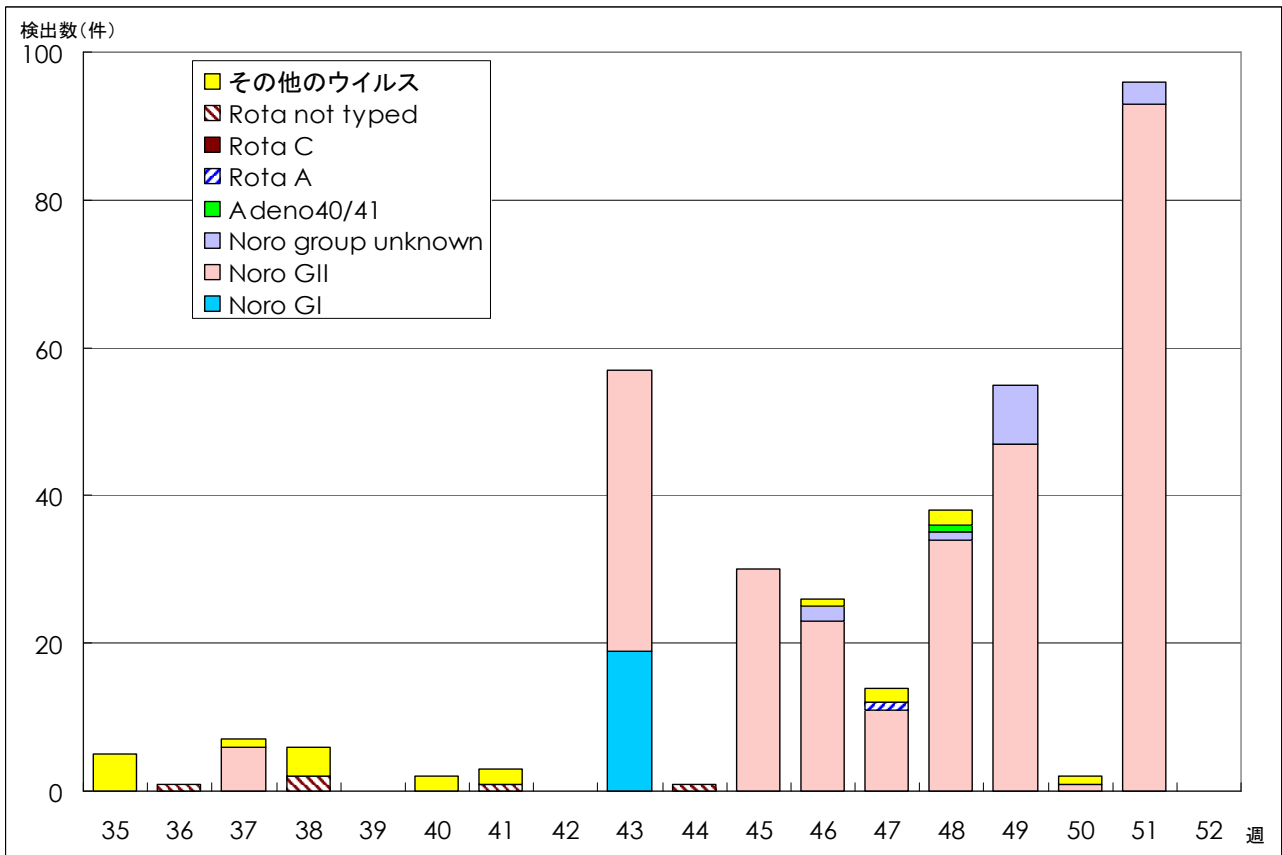
# 病原体グラフ（感染性胃腸炎）

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス（全国）



IASR 病原微生物検出情報 (2003年12月22日現在報告数)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス（東京都）



微生物部ウイルス研究科/多摩支所微生物研究科(集団発生を含む)  
 (注)Noro group unknown: SRSVで報告されたものを含む

年齢階級別累計表 (2003年 51週)

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
～6ヶ月	4				12	7	1		8									
～1歳			3	1	87	14		2	51									
1歳	6	6	3	2	215	16	2	1	26			2	1	2			3	
2歳	2	3	3	10	184	37	1	5	3					2				
3歳	3	6	3	12	228	43	2	2				1		2		1		1
4歳	1	7	3	28	242	35	1	8				1		1				2
5歳		6	1	25	216	25	1	9				1		5		1		1
6歳	2	3	1	15	172	23		5	1					2				1
7歳		2	1	12	127	7		5			1			3				
8歳		3		10	108	7		2						2				
9歳		6		10	73	4		1						1				1
10～14歳		36		17	152	3		6										
15～19歳		14		2	46									1		3		
20～29歳		8		15	382	1	1	5					1	2		7		
30～39歳		11														5		
40～49歳		9														2		
50～59歳		1														3		
60～69歳		6														3		
70～79歳																2		
80歳以上																		
合計	18	127	18	159	2244	222	9	51	89	0	1	5	2	23	0	27	7	2
先週比	4	71	-14	28	209	-13	-1	-8	16	-1	0	0	-1	-4	0	15	2	2

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2003年 51週)

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜炎	A群溶血 性レンサ 球菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田				2	12	2		1	1			1						1	20
中央区				3	38	23	2	4	3								4		77
みなと	6	7	2	1	60	3			1			1				4			85
新宿区		8		1	93	9								1		2			114
文京		3			58											3			64
台東		2		7	90	9	2	7	2			1							120
墨田区				2	30	7		1	2										42
江東区		1		4	39	8		2	8							6			68
品川区		3	1	25	81	8		2	4					8				1	133
目黒区		4		4	30	9		1						2					50
大田区		7	6	18	144	13	1	7	7			1				2			206
世田谷区		7		2	110	8		2	7										136
渋谷区		3	2	2	104	2			3							1			117
中野区	3	2		3	118	9			3										138
杉並		1	3	2	33			2	1					1					43
池袋		9			19	2			1				1						32
北区		13		2	97	11			6										129
荒川区					19	2										3			24
板橋区		1			61	1		1	2										66
練馬区		6		2	45	4	2		5										64
足立				1	52	8		5						1					67
葛飾		1		22	72	7		2	7										111
江戸川	1	1	3	10	158	18		4	2			1		2					200

保健所別累計表 (2003年 51週)

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜炎	A群溶血 性レンサ 球菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
多摩川		8		4	116	13			4										145
秋川				5	35	4								2			1		47
八王子		2		3	28	3			1										37
南多摩		12		1	63			1	2					4			1		84
町田		1			80	4		1	2							3			91
多摩立川		6		4	30	7			1										48
村山大和					21	4	1												26
府中小金井		2		2	7	2													13
狛江調布		2		1	33	4		1	5										46
三鷹武蔵野	1	8		10	72	7			2										100
多摩小平	7	6	1	5	127	8	1	5	5		1			2					168
多摩東村山		1		6	69	3		2	2				1			3	1		88
島しょ				5															5

東京都合計	18	127	18	159	2244	222	9	51	89	-	1	5	2	23	-	27	7	2	3004
定点当り報告数	0.13	0.71	0.13	1.12	15.80	1.56	0.06	0.36	0.63	-	0.01	0.04	0.01	0.16	-	1.93	0.05	0.01	



保健所別累計表(定点当り) 2003年 51週

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜炎	A群溶血 性レンサ 球菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田				0.50	3.00	0.50		0.25	0.25			0.25						0.25
中央区				1.00	12.67	7.67	0.67	1.33	1.00								1.33	
みなと	1.00	1.00	0.33	0.17	10.00	0.50			0.17			0.17				4.00		
新宿区		1.14		0.17	15.50	1.50								0.17		1.00		
文京		0.75			19.33											3.00		
台東		0.50		2.33	30.00	3.00	0.67	2.33	0.67			0.33						
墨田区				0.67	10.00	2.33		0.33	0.67									
江東区		0.25		1.33	13.00	2.67		0.67	2.67							6.00		
品川区		0.43	0.17	4.17	13.50	1.33		0.33	0.67					1.33				0.17
目黒区		1.00		1.33	10.00	3.00		0.33						0.67				
大田区		0.70	0.67	2.00	16.00	1.44	0.11	0.78	0.78			0.11				2.00		
世田谷区		0.78		0.25	13.75	1.00		0.25	0.88									
渋谷区		0.60	0.50	0.50	26.00	0.50			0.75							1.00		
中野区	0.50	0.29		0.50	19.67	1.50			0.50									
杉並		0.14	0.50	0.33	5.50			0.33	0.17					0.17				
池袋		1.50			3.80	0.40			0.20				0.20					
北区		2.60		0.50	24.25	2.75			1.50									
荒川区					9.50	1.00										3.00		
板橋区		0.14			10.17	0.17		0.17	0.33									
練馬区		1.00		0.40	9.00	0.80	0.40		1.00									
足立				0.25	13.00	2.00		1.25						0.25				
葛飾		0.20		5.50	18.00	1.75		0.50	1.75									
江戸川	0.25	0.20	0.75	2.50	39.50	4.50		1.00	0.50			0.25		0.50				

保健所別累計表(定点当り) 2003年 51週

	RS ウイルス 感染症	インフル エンザ	咽頭 結膜炎	A群溶血 性レンサ 球菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人 以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
多摩川		2.00		1.33	38.67	4.33			1.33									
秋川				2.50	17.50	2.00								1.00			0.50	
八王子		0.67		1.50	14.00	1.50			0.50									
南多摩		3.00		0.33	21.00			0.33	0.67					1.33			0.33	
町田		0.33			40.00	2.00		0.50	1.00							3.00		
多摩立川		1.20		1.00	7.50	1.75			0.25									
村山大和					10.50	2.00	0.50											
府中小金井		0.50		0.67	2.33	0.67												
狛江調布		0.50		0.33	11.00	1.33		0.33	1.67									
三鷹武蔵野	0.25	1.60		2.50	18.00	1.75			0.50									
多摩小平	2.33	1.50	0.33	1.67	42.33	2.67	0.33	1.67	1.67		0.33			0.67				
多摩東村山		0.25		2.00	23.00	1.00		0.67	0.67				0.33			3.00	0.33	
島しょ				5.00														

東京都合計	18	127	18	159	2244	222	9	51	89	-	1	5	2	23	-	27	7	2
定点当り報告数	0.13	0.71	0.13	1.12	15.80	1.56	0.06	0.36	0.63	-	0.01	0.04	0.01	0.16	-	1.93	0.05	0.01

## SARS とインフルエンザ

本年上半期に世界的な発生をみた SARS は、6 月下旬の台湾での発生を最後に一旦は終息した。この間の知見から、SARS の実体が明らかに成りつつある。

まず、感染経路は飛沫感染と接触感染がほとんどで、空気感染を起こす可能性は少ないとされている。このため、市中感染はほとんどなく、家族感染や院内感染などの濃厚な接触による感染が多くを占めている。また、無症状期に感染した報告はなく、ウイルスの排出量が増加する発症後 5 日から第 2 週で感染力が強い。確定診断は PCR 検査等 SARS コロナウイルス検査が必須であるが、初期は偽陰性の場合も少なくないため、発症 10 日後にも検査することが標準となっている。治療方法は、依然として対症療法しかないが、WHO は、致死率を 10% 前後と推計している。ただし、高齢者は 50% 以上と高率である。

症状は発熱、咳等により発症するが、呼吸器症状は 100% ではなく、また、しばしば全身倦怠感、下痢等が伴う。

一方、今冬期のインフルエンザは、A 香港型 ( $H_3N_2$ ) を中心とした平均的規模の流行になると東京都健康安全研究センターは、予測している。

しかしながら、SARS 再発生の懸念がある状況下では、たとえ小規模なインフルエンザ流行でも、初期症状が SARS と類似していることから、住民の不安と医療現場の混乱を招く可能性がある。このため、SARS が重篤化しやすい高齢者を中心に予防接種が推奨されるとともに、常に感染予防策を確実に行うなど医療現場での適切な対応が必要である。

(文責・前田秀雄)